



(財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)

松江事務局
松江朝日町 478-18
松江テルサ 3F
tel : 0852-28-0690
e-mail : shimane@teiju.or.jp

石見事務所
浜田市相生町 1391-8 シティパルク浜田 2F
石見産業支援センター「いわみぶらっと」内
tel : 0855-25-1600
e-mail : iwami@teiju.or.jp

平成 22 年度第 1 回 県民いきいき活動支援事業の 採択団体が決定しました!

7月15日(木)、22日(木)、29日(木)に開催した書類審査・公開審査会を経て、下記の団体が採択されました。また、第2回(社会貢献・複数年型、ステップアップ、ジャンプアップ事業)の申請相談を受け付けています。詳しくはふるさと島根定住財団 地域活動支援課(TEL:0852-28-0690)までご連絡ください。

【社会貢献・単年型】採択団体	事業名
紫の風(松江市)	性同一性障害児・性同一性障害者とその家族に対する自立支援のためのコーディネート事業
広瀬地区体育協会(安来市)	健康スポーツフェスティバルと放課後子供教室支援
浜田を明るく照らし隊(浜田市)	大学生と市民で安心安全な町を考えよう
久佐自治振興会(浜田市)	久佐憩いの場創出事業
赤雁元気ばかもん隊(益田市)	赤雁元気ばかもん隊決起事業 (10年後に桜の下で花見ごと興し事業)
【社会貢献・複数年型】採択団体	事業名
特定非営利活動法人らんぐ・ざーむ(浜田市)	少子化対策 未婚・晩婚者たちの出会い創出事業(交流&居場所)
在日本大韓国民団島根県地方本部(松江市)	第7回島根県民団市民交流会10月のマダン(広場)
益田系あやつり人形保持者会(益田市)	益田系あやつり人形保持者会活動基盤整備事業

【ステップアップ事業】採択団体	事業名
佐世だんだん倶楽部(雲南市)	佐世地区西阿用定住対策拠点施設整備事業
楽農会22(邑南町)	放牧手法を取り入れた和牛肥育による地域活性化プロジェクト
にんじんクラブ(松江市)	大根島雲州人参再生プロジェクト
【ジャンプアップ事業】採択団体	事業名
地域自主組織日登の郷(雲南市)	どぶろく&田舎料理グレードアップ事業
特定非営利活動法人自然再生センター(松江市)	飯梨川下流域の自然再生と河川敷牧草栽培事業
隠岐NPO(隠岐の島町)	“共生”から“共創”へ! 隠岐コミュニティブランド創出事業
株式会社ほんき村(浜田市)	精米施設を活用した弥栄体験「受け皿」創り
おみず会(浜田市)	交流拠点『たばせ屋』施設整備 癒しの農山村等体験交流ホッステイ事業

助成金&イベント情報



募集情報



イベント情報



助成情報



中海圏域連携事業補助金 交付団体募集中

9/1~
9/30

- 募集期間:9月1日(水)~9月30日(木)
 - 助成内容:支援対象経費の3分の2(10万円を限度)
 - 助成対象:①圏域に事務所を置く民間団体など3項目を満たす団体
 - 対象活動:①スポーツ、文化芸術、環境保全に関する活動、②経費総額が10万円以上であることなど6項目を満たす事業
- 問合せ:中海市長会事務局
TEL:0859-23-5376 FAX:0859-23-5392



第14回 「地球倫理推進賞」

~9/30

- 締切日:9月30日(木) 当日消印有効
 - 表彰内容:①国際活動部門、②国内活動部門ごとに賞状及び副賞(100万円)の贈呈
 - 応募対象:5年以上継続的に活動する非営利団体で6つの分野(環境、文化など)のどれかに該当する活動
- 問合せ:社団法人倫理研究所
TEL:03-3264-2251 FAX:03-3264-7881



第5回 観光資源活用 トータルプラン募集

~10/31

- 締切日:10月31日(日) 当日消印有効
 - 表彰内容:最優秀賞1点、優秀賞2点程度
 - 応募対象:社団法人、財団法人、NPO法人など
 - 応募条件:地域観光振興の活動実績があり、受賞後3年以内に応募者が事業実施できること
 - 応募内容:継続性があること等5項目を考慮したプラン
- 問合せ:財団法人高速道路交流推進財団 企画部
TEL:03-5623-1648 FAX:03-5623-1655



LUSH JAPAN チャリティポット

~10/31

- 締切日:10月31日(日) 当日消印有効
(2か月に1度、月末に応募締切)
 - 助成金額:10万円~200万円(変更になる可能性あり)
 - 対象活動:①環境保護活動、②動物の権利擁護活動、③人権擁護活動
 - 助成対象:①対象活動を行う団体、②小規模な草の根団体であることなど5項目を満たす団体
- 問合せ:株式会社ラッシュジャパンチャリティポット担当
TEL:03-5781-9567



三菱UFJ信託地域文化 財団 助成事業募集中

~11/30

- 締切日:11月30日(火) 当日消印有効
 - 助成金額:上限設定なし(1件当たり20~50万円が平均)
 - 助成対象:法人が日本国内で行う地域文化振興寄与する公演・展覧会等で、平成23年度内に開催するもの
 - 募集部門:音楽、美術展、演劇、伝統芸能の4部門
 - ※過去に助成を受けた団体は5年以上経過していること
- 問合せ:財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
TEL:03-3272-6993 FAX:03-3272-6994



東芝国際交流財団 助成先募集中

~11/30

- 締切日:11月30日(火) 当日消印有効
 - 助成金額:申請金額による
 - 対象団体:事業遂行能力のある、組織名義の銀行口座を有する非営利団体であること
 - 対象活動:①特に海外における日本理解を進め、助成プログラムに合致する事業、②会計年度内(4月1日から翌年3月31日まで)に実施する事業(対日理解のためのセミナー開催など計4種類)
- 問合せ:財団法人東芝国際交流財団
TEL:03-3457-2733 FAX:03-3457-4389



郷蔵普請(ごうくらふしん) 初めの第一歩に参加しよう

9/6~

- 日時:第1回9月6日(日) 13:30~15:00
第2回9月19日(日) 9:30~17:00頃
(10月以降にも数回開催予定)
- 内容:第1回「弘化4年 郷蔵普請帳」を読み解く古文書講座(会場:川越公民館)
第2回「石見の蔵の材料調達」現地見学とお話&赤土採取(会場:中村家)

- 会場:川越公民館または中村家(江津市桜江町)
- 参加費:1回につき300円から500円程度
- 内容:歴史ある建造物(郷蔵)の改修準備段階を学び、実際に保全作業を参加者全員で行う。
- ※詳細は下記までお問い合わせください。
- 問合せ:川越公民館 (TEL/FAX:0855-93-0825)
または桜江古文書を現代に活かす会事務局
E-mail:jukan5@yahoo.co.jp

島根 で頑張る人

“島根で頑張る人”は島根県で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。

NPOらしいNPO ニーズを拾いかたちに

「地域の皆さんのお陰で今の“ほっと大東”がある。やっと恩返しができるようになったかな。」今年11月に法人化10周年を迎える「NPO法人ほっと大東」の活動の原点は「住民参加型」と「求められるサービス」の追求だ。

「ほっと大東」は地元の雲南総合病院退職者を中心としたサークルが前身で、小山さんは法人立ち上げの時から本格的に関わるようになった。老人保健施設に勤務していた頃から「福祉の仕事がしたい」という思いがあり、当時の仕事は今に活かされている。現在は約80名の職員がおり、事業も順調に拡大できたが、この10年間を振り返ってみると多くの課題を乗り越えてきたことが思い出される。

法人設立後、通所介護事業所開設にあたり場所がなかった。大東町へ施設利用を要請するも交渉は成立せ



ちゅれんじクラブ(預かり保育)の様子

ず、何とか古い縫製工場跡を借りることができた。

次に課題となったのは内装工事等の資金調達。当時はNPO法人の認知度・信頼度がなく、銀行や公的金融機関からの支援は得られなかった。「地域の皆さんに賛同・支援してもらおうほかない」と、会員全員で同僚や隣人に寄付を募ることに。1000人近くの住民から約700万円を集めた。「こうした住民の気持ちに伝えるため、地域に必要な活動は採算が取れなくても続ける」と語る。

「福祉有償移送サービス」もその一つ。高齢者が総合病院から移動する際、福祉タクシーは出雲や松江から調達せねばならず、お金もかかる。高齢者や障がい者への負担を考慮すると、地域のニーズは高かった。だが、実現までには運営協議会の設置、承認、運輸局への申請と多くの壁が立ちはだかった。根気強く雲南市に働きかけ当時の担当者の努力もあり、平成18年9月運営協議会の承認を得、本格的な事業開始にこぎつけた。行政との『協働』の成果と捉えている。

「組織が大きくなるにつれて考えるのは、やはり後継者の育成。設立当初の“想い”を継承することが大切。」と小山さん。施設拡充のため、職員にボーナスを返上してもらったこともあった。それでも辞職者がいないのは、皆が同じ目的を共有しているからだ。知識・技術だけでなく、「想い」の継承にこれからも尽力する。



NPO法人 ほっと大東 事務局長 小山 義弘さん

雲南市大東町生まれ。島根銀行で37年勤務したのち、55歳の時に退職。約1年間の老人保健施設勤務を経て、平成12年6月よりほっと大東の法人設立事務に携わり、設立とともに事務局長に就任。

NPO法人 ほっと大東

住民参加型ボランティア団体として平成9年に発足し、高齢者の健康づくり(ミニデイサービス)やたすけあい活動を展開。平成12年に法人化し、翌年には介護保険事業に参入。幼児の預かり保育にも力を入れる。今年10月には認知症高齢者のためのデイサービス事業所を開所予定。雲南市大東町。

島根県内のNPO法人の方々に朗報です!

特定非営利活動法人支援融資のお知らせ



中国労働金庫が2003年から設置している「NPO事業サポートローン」の中に平成22年6月1日より「特定非営利活動法人支援融資」を新設。

融資利率を2%以下に抑え、事業のための運転資金や委託金等振り込みまでのつなぎ資金にお困りの方に融資します。まずは最寄りの取扱金融機関(中国ろうきん営業店・支店等)へお問い合わせください。

【問合せ先】

安来:0854-22-1525 松江:0852-27-3636
出雲:0853-21-3737 雲南:0854-42-2121
浜田:0855-22-0431 益田:0856-22-0196

NPO支援融資 概要

対象団体	島根県内に主たる事務所を有する法人であって、原則として法人取得後3年以上活動している団体
資金使途	島根県内で行う事業に必要な①NPO法人の行う特定非営利活動に係る事業に必要な運転資金・設備資金、②国からの委託金等が支払われるまでのつなぎ資金
融資額	1法人につき500万円を限度とし、つなぎ資金の場合は委託金等の額を限度とする(担保不要)
融資期間	運転資金は1年以内、設備資金は5年以内、つなぎ資金は1年以内で国からの委託金等の支払い期日まで
保証人	連帯保証人3名(代表理事1名、理事2名以上)。必要に応じて追加していただく場合もあります。

NPO法人会計基準説明会を県内2カ所で開催決定!

これまでNPO法人の会計処理は、会計基準が定まっていなかったため、会計処理がまちまちでNPO間の比較が難しいなどの問題点があり、会計基準策定の必要性が言われてきました。このため、全国18の民間組織によるNPO法人会計基準協議会が発足し、このほどNPO法人会計基準が完成し、公表されました。

NPO法制定から12年が経過しましたが、NPO活動に対する認知度・信頼度はまだまだの状態です。信頼と支援を得るためには、正確な情報開示・発信が求められ、その第一歩として統一された会計基準による会計処理が重要となります。

財団では、多くのNPOでこの会計基準による会計処理が行われるよう、説明会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

【問合せ】ふるさと島根定住財団 (担当: 桔梗・藤原)
 TEL: 0852-28-0690
 Eメール: shimane@teiju.or.jp

【松江】定員50名

日時: 9月27日(月) 13:30~16:00

会場: 松江市市民活動センター2F研修室
(松江市白濁本町43 スティックビル)

【浜田】定員50名

日時: 9月28日(火) 9:30~12:00

会場: いわみぶらっと会議室
(浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2F)

【講師】脇坂 誠也氏(税理士)

【参加費】無料



財団で貸し出し・閲覧を行っている図書の中からお勧めを2冊、ご紹介いたします。興味のある方は是非一度お越し下さい。

「部下は取り替えても、変わらない!」

(藤本篤志 著)

こんな風に考えたことはありませんか? ①どれだけ優秀な人がいるかで会社の業績が決まる、②指示しなくても自分で考えて動ける部下が欲しい、③部下が頑張らないのは、結局やる気がないせい。どれもマネジメントについての大切な勘違い。一つでもチェックした人は本書へGO!



「起業は山間から—石見銀山 群言堂 松場登美」

(森まゆみ 著)



2007年に世界遺産登録された「石見銀山」のある大田市大森町でこだわりの洋服や小物を扱う店「群言堂」がある。コミュニティ・ビジネスの成功例としてメディアにも多く取り上げられている。デザイナーの松場登美さんと著者とのインタビューを通して成功の秘訣を学びたい。

掲載情報募集

地域づくり団体・NPO法人の皆さんからの掲載情報を募集しています。イベント告知・スタッフ募集など何でも構いません。毎月20日発行ですので10日ごろまでに定住財団まで、e-mail、fax、郵送などでご連絡ください。情報紙に掲載できない場合でも、ホームページに掲載可能です。下記のサイトもご参照ください。



⇒しまね地域ポータルサイト
 「だんだん」
<http://shimane.canpan.info/>



⇒県民活動応援サイト
 「島根いきいき広場」
<https://www.shimane-ikiiki.jp/>

製作スタッフ日記

8月は年度後半に向けての準備期間です。今回は10月15日、16日に開催する予定の「地域づくりマネジメント研修」についてお知らせします。講師は今年度も川北秀人氏(IIHOE:人と地球と組織のための国際研究所代表)です!研修内容は「組織マネジメント力をつけるために必要なこと」で、対象者はしまね田舎ツーリズム実践者と社会貢献活動実践者(NPO法人等)です。両者のネットワーク拡大と連携を目的として開催します。普段は時間を割いて考えることの少ない組織のマネジメントについてじっくり向き合う絶好のチャンスです!是非ご参加ください!



スタッフ
 藤原 英美